



企画展 **タンザニア発**

ティンガティンガ・アートのいま

2022年11月30日(水)～12月18日(日)  東大阪市民美術センター

第1・2・3展示室、1階常設スペース

開館時間：10:00～17:00※12月9日(金)は20:00まで開館(最終入場は閉館時間の30分前まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館日)

主催：東大阪市民美術センター(指定管理者 東大阪花園活性化マネジメント共同体 HOS 株式会社)

協力：株式会社バラカ

入場
無料

来館の際は、マスクの持参・着用をお願い致します。

なお、入場制限を行う場合があります。

感染予防対策については、ホームページをご覧ください。

HPIはこちらより▼



ティンガティンガ・アートは、1960年代末にアフリカのタンザニアで生まれた絵画様式。その名前は、創始者のエドワード・サイディ・ティンガティンガ(1932-1972)に由来します。当時、観光客が土産に買い求める絵のほとんどが、コンゴで描かれたものだったことに疑問を持ったティンガティンガが、60×60cmの建築用合板にエナメルペンキで、タンザニアの野生動物と植物が織りなす自然の風景を描いたのが始まりでした。ティンガティンガの死後、血縁関係にある弟子達が中心となって、彼の作風や精神を受け継ぎ、ティンガテ

ィンガ・アートを継続しました。描写方法やスタイルが枝分かれしてきた現在でも、6色のペンキを使って描くシンプルな作風は変わらず、動物や自然、人々の日々の暮らしが色彩豊かに描き出されています。

ところで、大阪府第3位の人口を擁する東大阪市は、大阪府で2番目に外国人の方が多く暮らすまちでもあります。1970年代から近年に及ぶ作品から、ティンガティンガ・アートの広がりを見学することをとおして、タンザニアの文化に触れるきっかけとなれば幸いです。

関連イベント ワークショップ「アフリカンコースターをつくろう」

ティンガティンガ・アートの技法により、水性ペンキで動物を描き、オリジナルコースターをつくります。

- 2022年12月3日(土) ①11:00-12:00 ②14:00-15:00
- 中島文子(株式会社バラカ)
- 小学生以上(小学生は保護者の方とご参加ください)
- 東大阪市民美術センター 会議室
- 各回10人 / 500円
- 往復ハガキにイベント名、日時、住所、参加者全員の氏名・年齢(学年)、電話番号を記入し、ハガキ1枚につき1組申込み。もしくは、専用フォームから申込み。締切: 11月13日(日) 必着



専用
フォーム



(左から順に) □アモンデ《チーター〜カシューナッツの樹の下で〜》□ダウディ・ティンガティンガ《花の樹に憩う黒ヒヨウ〜オレンジ〜》□ドゥケ《サバンナを歩くマサイの家族〜日輪〜》□ヘレナ《アフリカの海〜魚の大群〜イエローブルー〜》□サユキ《おいしい食事をつくる〜シャターニ(精霊)の生活〜ピンク〜》□チャリンダ《しあわせのなる木〜「アフリカの民話」しあわせのなる木より〜》

(表面) □アブドラ《しあわせを呼ぶキリンの家族〜モノクロ〜イエロー〜》

東大阪市民美術センター

指定管理者: 東大阪花園活性化マネジメント共同体 HOS株式会社
〒578-0924 東大阪市吉田6-7-22 TEL: 072-964-1313
HP: <https://hos-higashiosaka-art.com/> Facebook: <https://www.facebook.com/ham1313art/>
近鉄奈良線「東花園」駅より北へ徒歩約10分 東大阪市花園ラグビー場南側

この事業は、「東大阪市第3次文化政策ビジョン:②文化施設の公共的役割の徹底(東大阪市文化振興条例第8条)」に基づき実施しています。



12月1日(木)〜
25日(日)まで
ライトアップを
行います。

